

闇の中、微かに震えるその双眸は、

かつての光り輝く夢の日を永遠の孤独を映し出す。

恒例、宇津呂鹿太郎による怪談ライブ、

今年も静かに幕が開く。

生野怪談物語
いくの
かいだん
ものがたり

現代怪談実話の夕べ

語り 宇津呂鹿太郎 (怪談作家)

三線演奏 見方里子

令和元年九月二十二日 (日)

午後六時三十分開演

会場 思い出の記録博物館

入場料 千五百円 (博物館入館料込み)

主催 NPO 法人宇津呂怪談事務所 協力 思い出の記録博物館 写真 後藤良史